

SPring-8 ユーザー協同体 (SPRUC) 四季報

SPring-8 ユーザー協同体 (SPRUC) 会長

筑波大学 数理物質系物理学域 エネルギー物質科学研究センター

西堀 英治

1. SPring-8 シンポジウム 2022

SPring-8 シンポジウムは SPRUC の最も重要な行事の一つであり、2012 年度より 2019 年度まで、代表機関である大学などを会場として開催してきました。2020 年度、2021 年度は、新型コロナウイルス感染症の影響により、オンライン開催となりました。2022 年 6 月 10 日からの外国人観光客の受け入れ再開など、新型コロナウイルス感染症に対する対応が変化する中で、今年度のシンポジウムの開催について検討してきました。6 月 9 日付の SPring-8 の Web ページにもあるように、SPring-8 シンポジウム 2022 は、2022 年 9 月 25 日 (日) から 26 日 (月) の 2 日間、SPring-8 放射光普及棟大講堂・中講堂とオンラインのハイブリッド開催にて行うことになりました。2020 年度、2021 年度の 2 年間は主催が、SPRUC、RIKEN、JASRI の 3 者であったのに対し、2022 年度は、代表機関である東京大学に主催に加わっていただきます。昨年度までのオンライン開催とは異なり、今年度は、100-150 名は現地での参加も可能となる見込です。対面の議論を楽しみたいユーザーの方々については現地での参加もご検討ください。今後の進捗状況は SPring-8 の Web ページやユーザーに向けての e-mail にてお知らせする予定です。

2. 第 6 期研究会の発足

2022 年 4 月 13 日に開催された 2022 年度第 1 回 SPring-8 ユーザー協同体評議員会にて、第 6 期 SPRUC 研究会申請について報告があり、34 件の継続申請、1 件の新規申請が承認されました。第 6 期 35 研究会が発足し、新しい研究会として角度分解散乱分光研究会が立ち上がりました。SPRUC 会則にあるように研究会の役割は、SPring-8 または SACLA を利用

するサイエンス・実験技術の発展に協力し、SPring-8 および SACLA の利用促進をユーザーサイドから推し進めることです。決して多くはないですが活動補助金もありますので、ユーザーの皆様には、是非、これらの研究会に参加いただき、活発に活動していただきたいと思います。

3. SPrin-8 秋の学校

昨年は新型コロナウイルス感染症の影響で 12 月に延期された「SPring-8 秋の学校」については、今年は 9 月 4 日から 7 日の日程で開催すべく行事幹事を中心に準備が進められています。第 6 回を迎える「SPring-8 秋の学校」は、放射線業務従事者登録が必要ないことなど、SPring-8 夏の学校や講習会行事と比較して、参加の敷居が低く設定されていると感じています。ユーザーの皆様には、現在、放射光ユーザーでない周りの方々にもお声がけいただき多くの方々に参加することを望みます。

西堀 英治 NISHBORI Eiji

筑波大学 数理物質系物理学域

エネルギー物質科学研究センター

〒305-8571 茨城県つくば市天王台 1-1-1

TEL : 029-853-6118

e-mail : nishibori.eiji.ga@u.tsukuba.ac.jp